

地域の会ホームページに寄せられた意見（2004/11/14）

都道府県名 静岡県
市町村名 静岡市
ご職業 主婦
ご意見・お問合せ

地域の会が原発4号機を視察

関西電力美浜原発3号機の蒸気噴出事故を受け13日、東京電力・柏崎刈羽原発を監視する「地域の会」が同原発4号機を視察した。原子炉建屋内の側壁に漏水や多数のひびがあったが、東電側は「コンクリートが乾燥し、収縮して出来たひびだ」とし、安全性に問題はないとの認識を示した。

視察には同会の委員8人と柏崎市、刈羽西山町の担当者が参加。原子炉建屋内の厚さ約2メートルのコンクリート側壁に漏水した個所が1カ所あったほか、多数の細かいひび割れを確認した。委員は「同原発は半地下式で壁が厚いのに、なぜひびができるのか」と質問。東電側は「部分的に見れば多いかもしれないが、全体にあるとは認識していない。定期的にサンプリングして強度も確認している」と説明した。

[新潟日報 09月13日(月)](2004-09-13-19:57)

アルカリ骨材反応の可能性?

・北陸地方海岸部は過去に当該反応によるコンクリート構造物の損傷が報告されている比較的材料事情の悪い地域です。

・さらに同反応を促進させる 1.寒冷地 2.地下式のため水分が多い 3.建設物が海岸線にある。3つの要素があります。

下記のような事例もありますので東電に調査させるべきではないでしょうか!!!!

東京電力は22日、福島第1原発(福島県大熊、双葉両町)の施設建設の際、建設に使われたコンクリート骨材(砂利)試験で、骨材納入業者の東洋機工(福島県広野町)が不正を行っていたと発表しました。

東電によると、東洋機工は1995年5月から2000年4月までの間、使用済み核燃料などを保管する施設など同原発の計3施設で、骨材に含まれる成分がアルカリ成分と反応し、コンクリートが

膨張してひび割れができるアルカリ骨材反応」の有無を調べる試験の結果を偽造。問題ないと建設会社を通じ伝えていました。東電は、試験データが残っていない同第1、同第2原発（同県櫛葉、富岡両町）のほかの7施設でも、東洋機工が結果を改ざんした可能性が否定できないとしています。東電はこれらの施設の目視点検などを実施したが、同反応によるひび割れはなかったとしています。経済産業省原子力安全・保安院は、必要に応じ両原発の現地調査を実施する予定です。全原発で早急に調査を。

【解説】

原子力発電所のコンクリートの健全性にかかわるデータ改ざん問題では、日本共産党の吉井英勝衆院議員が今月14日に政府にたいして質問主意書を提出しています。（本紙16日付既報）

質問主意書では、中部電力浜岡原発4号機と東京電力福島第1、第2原発で使用されているコンクリートのアルカリ骨材反応試験でデータ改ざんが行われたという内部告発が経済産業省原子力安全・保安院に出されていることを指摘。これらの原発について保安院としての調査計画と、すべての原発についてコンクリートの健全性を調査するよう求めています。

中部電力はすでに12日、データ改ざんがあったことを認めています。今回、東京電力が認めたことで、内部告発が事実であったことが改めて安院は、すべての原発についてコンクリートの健全性を早急に調査することが求められています。

追加

四国電力伊方原発では既にアルカリ骨材反応でのタービン架台の損傷等が報告されています。